

配線器具の注意喚起で連携

～店舗内売り場から安全情報をお届け～

製品安全活動の協力に関する協定を結んでいます



【はじめに】

NITEは、大手流通企業ユニ株式会社と連携して、製品安全の啓発活動として、NITEの注意喚起情報等を同社からお客様に直接提供することにより、お客様が必要とする安全情報を迅速、確実にお届けしています。

【取り組みの概要】

コロナ禍をきっかけにテレワークが普及し、電源の使用頻度も増加したため、電源タップの出番も増加していると考えられます。そこで、電源タップを正しく使うため注意喚起ポスターを作成し、同社の店舗内売り場に掲示を始めました。年末大掃除に向けてお使いの製品を点検しましょう！

【実施期間等】

- ・60店舗の配線器具売り場でポスターを掲示。
- ・11月19日(金)から順次開始。

店頭掲示の注意喚起ポスター

**こんな使い方を
していませんか？**

電源タップの危険度チェック

<input checked="" type="checkbox"/> コードやプラグが熱くなる  <small>→接続機器の消費電力が大きすぎる可能性があります。そのままの使用は発火の原因に。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> プラグの根元に焦げや変形がある  <small>→トラッキング火災の原因になることもあります。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> コードが家具の下敷きになっている  <small>→重みでコードが断線し発火する恐れがあります。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> コードを束ねて使用している  <small>→折れ曲がって中の電線が切れたり束ねた部分が発熱して発火する恐れがあります。</small>
--	--	---	---

※製品事故の調査・分析をしているNITEの事故情報を参考に作成しています。

タップの**交換**は

約3～5年

※が目安です。

※周辺環境や使い方によって備み方に差があります。
出典：日本配線システム工業会 (https://www.jewa.or.jp/)

電源タップは**正しく**使いましょう!**古い電源タップ**は買い換えをおすすめします。



アピタ稲沢店 外観(上)
配線器具売り場の風景(右)

